

タイトル: チーム医療で人人が主体の仕事

事務局使用欄: 304

学校名: 酒田市立第三中学校

氏名: 星野 佑太

僕はチャレンジワーキングで日本海総合病院に行った。薬育部では薬の調合を行い、難しい作業ではあったが、機械が普及されているため、すばやく仕事ができて、これが患者さんの元へ届くと思うと影の仕事ではあるが、やりがいを感じると思った。看護部では心臓や肺の音を聴いて、体にどのような影響が出ているのかを調べた。聴きわけるのはとても難しく、経馬灸があるとスムーズにできると思い、感動した。看護士さんは患者さんと一番触れる仕事なので、患者さんの言動一つでやりがいを感じたり、お褒めな仕事だと思った。放射線部ではいろいろな放射線の見学をした。造影剤で写真を撮りやすくしていることを学んだ。調べたいところによって機械を使いおけているため、とても多く、興味深かった。時代の変化を感じさせられるような場所だった。検査部では、検査の数が多くあり、いろいろな検査を聞いて聞いたことのない微生物を見せられたり、血液のところではO型はA型やB型の血がなくなるときのかわりにすることもできるため、O型はたくさんあることを学んだ。仕事をする上で安全に取り扱うことを心がけていて、油断は絶対にと教えていただいた。リハビリをするところでは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という3つの資格があるが、日本海総合病院では近年は患者さんのいる各病棟の病棟リハビリスペースを利用してリハビリを行っていることを学んだ。これらの各部門の仕事を体験したり、見学したりして、最初は医療というものは医士を中心にして置いてそれぞれが働いているのだと考えていたが、表で働く人も裏で働く人も欠かすことのできない、1人1人が主体となって働き、チーム医療として1人の患者さんを救うためにベストをつくす、1人1人がやりがいを感じられる良い仕事が集まっているという考えに変化した。僕は入院した経馬灸から外科医になりたいと自分の将来の像を描いていたが、今回の学びなどから外科医以外の仕事にも興味を持ち、将来についてもう一度考えさせられたので、今回の経馬灸もふまえてどの医療の仕事に就きたいかをしっかりと考えて、将来につなげていきたいと思う。